

2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～集計表

団体名	防災担当者数	防災に関する会議						防災活動、資機材配備等の実施						消火資機材の配備					
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器					
										数量	場所	数量	場所	数量	場所				
池尻東親会		○				○	○					1	町会倉庫						
池尻西町会	8	○		池尻三宿防災訓練(3町会合同)	1	○	○	1	池尻3丁目24-7	1	池尻3丁目公園内西町会倉庫	2	池尻3丁目公園内西町会倉庫						
池尻南睦会		○				○	○	2	D型ポンプ収納庫	2	D型ポンプ収納庫								
池尻北自治会	8	○		名称は特に無し。役員会の時。	2~3	○	○	1	池尻3-18-22(松澤宅)	1	防災倉庫(池尻3丁目公園内)	6	町会役員宅						
池尻4丁目町会	15	○		町会役員会	2	○	○	5	池尻4-23-14 池尻4-12-5 池尻4-32-2 池尻4-27-33 池尻4-29-17	1	池尻4-24-10								
池尻団地自治会	12	○				○	○			1	団地集会所脇	1	各部屋						
三宿自治会		○		三宿自治会防災担当会議	2	○	○	1	えの木公園倉庫	1	たぬき公園倉庫	1							
三宿北町会	10	○		多聞小避難所訓練会	1	○	○	1	三宿神社防災倉庫	1	北沢川緑道、三宿2-8								

団体名	その他		実施している	実施していない	防災訓練等の実施					
	名称	場所			防災訓練		救命救急講習会		その他	
					回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所
					池尻小学校					
池尻東親会			○		1					
池尻西町会	カンパ ンスタンドパイ プ	池尻3丁目公園内西町会倉 庫 池尻3-24-7	○		1	池尻3丁目公園		1	池尻3丁目公園	
池尻南睦会			○		2	池尻小学校 旧池尻児童館前				
池尻北自治会			○		1	池尻まちづくりセン ター 池尻三丁目公園			スタンドパイ プ	池尻3-18-22周辺
池尻4丁目町会			○		1	池尻4-27-33シーア イマクション		1	池尻4-27-33シーア イマクション 備蓄水配布(年1回)	池尻4-29-17 池尻4-27-33 池尻4-8-1 池尻4-10-1
池尻団地自治会	消火栓	各棟前	○						不定期に開催	団地内
三宿自治会	ビニール水 消防ホース		○		2	池尻3丁目公園、三 宿小		1	三宿消防署	
三宿北町会			○		1	区立多間小学校		1	三宿地区会館	

団体名	防災マップ											
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							その他
					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	

池尻東親会 ○ ○ ○ ○ ○ ○

町会役員宅

池尻西町会 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

池尻南睦会 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

池尻北自治会 ○ ○ ○ ○ ○

AED

池尻4丁目町会 ○ ○ ○ ○ ○ ○

池尻団地自治会 ○

三宿自治会 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

三宿北町会 ○

団体名	防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)				避難行動要支援者協定			
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
池尻東親会	2			○			○					○
								池尻北町会、三宿自治会				
池尻西町会	1		2		○							○
池尻南睦会	2			○			○					○
池尻北自治会	2	○		○			○					○
								現在は更新していないが一時駒場東邦高校と最近東邦病院が 移転するので区の方で災害援助協定を結ぶ話がある。				
池尻4丁目町会		○		○			○					○
池尻団地自治会	3		1				○					○
								池尻西町会、池尻北自治会、三宿小 学校、世田谷学園				
三宿自治会	1			○	○							○
三宿北町会	2		2				○					○

団体名	避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)			
	日頃からの見守り活動	要配慮者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
池尻東親会				○		○					○	
池尻西町会	○		町会役員、民生委員による				町会役員による					○
池尻南睦会				○							○	
池尻北自治会				○		○				○		
池尻4丁目町会	○					○					○	
池尻団地自治会				○		○					○	
三宿自治会	○									○		
三宿北町会				○	○	○	役員(班長)レベルの 電話名簿くらい。				○	

団体名	救出救助に係る資機材の配備															その他	保管場所	
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー			ツルハシ
池尻東親会	○	1		1			10	1	1								※ヘルメットは各人に配布済	町会倉庫
池尻西町会	○				1		1	4		1	1							D型ポンプ収納庫
池尻南睦会	○	1		1	6		2	3		2	2		2					町会倉庫
池尻北自治会	○		1	2	1	1	10		1	5					1			
池尻4丁目町会	○	2				1	12			5								
池尻団地自治会	○	2		3	3	1	5		1	5	4	2		1	1			
三宿自治会	○	1			1	2	10	1	1	2							テント、タンカー台車x2、防火衣一式、車椅子	ためき公園
三宿北町会	○	2			2		20	2	1	10	1				1		懐中電灯、カセットコンロ、ポンベ、ラジオ等	防災倉庫

団体名	食糧等の備蓄													その他	保管場所	備蓄品配布先	
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機				給水タンク
池尻東親会	○		50	50	76.3	50	50										
池尻西町会	○		72	16.8							3						
池尻南睦会	○		50								2	2					池尻地区防災施設 (池尻2-3-43)
池尻北自治会	○		80								1						町会倉庫 防災訓練の時、 訓練参加者に配布。
池尻4丁目町会	○	300	100	200	2400					2	1	3					池尻4-29-17、4-8-1、4- 27-33、4-10-1
池尻団地自治会	○		30							3		1	5				自治会倉庫
三宿自治会	○		360		1200	160					2		2				ためき公園、えの木公園倉 庫 三宿自治会管 轄住民
三宿北町会	○																

団体名	その他の防災活動
-----	----------

池尻東親会

町会の防災訓練を3丁目公園にて朝9時～12時迄年1回は実施しています。

池尻西町会

池尻南睦会

池尻北自治会

池尻4丁目町会

池尻団地自治会

三宿自治会

三宿北町会

昨今町内活動の中での防災活動が減少してしまいました。原因の第一は、本部役員(活動の中心にいる人)の高齢化、病気、死亡などが続き、後任者が見当たりません。防災活動の必要性や要望を、町民は望んでますが、自己ら進んで活動しない人が多くなり、町会存続、維持が最大の課題です。個人的な意見ですが、共助を推進させる為には町会に依存せず行政が全面的に推進すべきと思います。避難所、防災などを学校(教育委員会)に任せたいはけません。ニューファミリー、若い人が中心のPTAなどの参画できる組織、企画を作り出してください。

3. 池尻・三宿地区の課題と取り組み

課題1 自助の取り組みの強化

■意見

- ・町会・自治会や避難所の備蓄物品だけでは不十分なため、各家庭での備蓄を促す。
- ・家族で集合場所を決める、震災時の交通規制、自宅を離れる場合の防犯対策、通電火災の防止など、防災情報を住民全員で情報共有する。
- ・老朽化した木造住宅が多く、また高齢者は避難が難しいので、自宅の耐震化を促進する。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・町会・自治会が、自助の重要性を具体的に分かり易い言葉で、広く周知徹底する。
- ・感震ブレーカーの設置を周知（特に高齢者）する。
- ・家具の転倒防止対策の普及と区の支援制度の情報提供を行う。
- ・各家庭で飲料水などを備蓄する。
- ・高齢者には、顔見知りの民生委員や町会・自治会の班長などがチラシ等を直接手渡しできるように検討する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

【池尻小学校避難所運営協議会エリア】

- ①子どもや若い世代の学びの場を設けることで、上の世代にも伝えていく。具体的には、がやがや館を借りて、自治会と協同して、区からも協力を得て講座を行う。
また、内容を映像等に記録して来れなかった人にも伝わるようにする。

【三宿小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 学校で自助の重要性を学ぶためのプログラムを提供する。
- ② 子どもに自助の重要性を教えると親に伝わるので、三宿小のサバイバルキャンプを利用して、工作で耐震化の必要性を学ぶ教室を開催する。
- ③ 耐震化・家具の転倒防止について、ディホーム等でセミナーを開催を検討する。
- ④ 家具の転倒防止器具の取り付け時に、避難に支障が出ないように家具の配置もみてもらえるよう、区に働きかけていく。

課題2 住民同士の繋がり・ネットワークづくり

■意見

- ・集合住宅（マンション・アパート）居住者や町会・自治会未加入者との関係づくりが必要である。
- ・地区住民への情報伝達のためのネットワーク拡大のため、PTAの連絡網の活用も必要である。
- ・日中、地区内にいる若者（学生等）の協力が必要である。
- ・地区内の事業所、学校、スーパー、大規模社宅などとの協力関係を築く必要がある。
- ・町会・自治会や地区を越えた繋がりを作り、連携、情報共有する必要がある。
- ・高齢者や要配慮者の情報をあらかじめ把握し、安否確認方法を決めておく必要がある。
- ・地区内に坂道が多いことやエレベーターが停止することを考えると、高齢者や要配慮者の避難には、近隣住民の力が必要となる。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・町会・自治会の班の中で、要配慮者の安否確認をできるようにする。
- ・町会・自治会との繋がりができれば、情報が入ることを伝えていく。
- ・通学中の子ども達へのあいさつ活動から繋がりを深める。
- ・町会・自治会の防災訓練や避難所運営訓練に集合住宅居住者の参加を呼びかける。
- ・高齢者や子どもへの声かけ運動を行う。
- ・地元の中高生との交流を図る。
- ・新たに集合住宅が建つ時は、予め町会加入を依頼したり、地区のイベント情報を提供するなどして町会加入のメリットを伝え、町会加入を促していく。
- ・普段から隣近所の付き合いを密接にして、最低限隣り近所の高齢者等の生活状況や安否を把握できるようにする。

■各団体の今後の取り組みの方向性

【池尻小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 池尻団地自治会（災害時要配慮者支援協定締結）は、消防署と高齢者宅の家具転倒防止対策を継続していく。
- ② 既存の学校行事の中に、災害について体験できるもの（備蓄食料の試食、給水体験等）を入れる。
事業の呼びかけ方法として、避難所運営訓練等で繋がりのある町会から小学校長に働きかける。
- ③ 町会・自治会は、不動産業者にチラシを置くなどして、町会・自治会加入のフォローをする。
- ④ 地区内にある食糧学院、三宿通り商店街、町会・自治会が協力して炊き出し支援ができないか等の課題について検討する。
- ⑤ バザーの出店料で備蓄品を購入している他地区の事例を参考にする。
- ⑥ 池尻団地自治会は、高層住宅での安否確認は、ベランダにハンカチを出す方法などの具体的内容を検討する。
- ⑦ 「集合住宅」及び「戸建住宅」への情報伝達方法を不動産会社と連携し検討する。
- ⑧ 運営協議会は、隣接地域との連携を図る。
- ⑨ 運営協議会は、近隣の食糧学院や昭和女子大学との連携を検討する。

【三宿小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 三宿自治会は、世田谷学園と災害時のグランド使用の了解を得ており、今後も継続していく。
- ② 町会・自治会は、三宿小との連携強化のため、ふれあい給食・サバイバルキャンプ等の学校行事に参加する。
- ③ 中学生が高齢者の避難支援を行う仕組みの導入を検討する。

【多間小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 町会・自治会は、マンションの管理組合は指示系統がしっかり決まっている所があり、町会・自治会との合同訓練で相互連携ができた所もあるので、他にも広げていく。

課題3 逃げなくてもいい安全なまちづくり

■意見

- ・日頃の訓練などを通じて、スタンドパイプなどで初期消火ができる人材を確保する必要がある。
- ・道路が狭いため、スタンドパイプを増やすための保管場所の確保や保管場所の周知が必要である。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・消防署のまちかど防災教室への参加を呼びかける。
- ・町会・自治会の防災訓練や避難所運営訓練に集合住宅居住者の参加を呼びかける。
- ・初期消火のために、多くの人に消火器の設置場所を知らせ、取り扱いを学んでもらう。
- ・消火訓練で、スタンドパイプの操作等の練度の向上を図る。
- ・応急救護訓練で、救護方法を確認する。
- ・246号線歩道のはみ出し看板、自転車・バイクが危険なため対策を検討する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

【池尻小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 町会・自治会は、D型ポンプ、スタンドパイプは、誰でも使えるように、使用方法の訓練と倉庫の鍵保管者（10名程度）を多くしており、今後も継続していく。
- ② 池尻南睦会は、池尻2丁目の木造住宅密集地に集中してD型ポンプを配置しており、今後も継続していく。
- ③ 町会・自治会・学校毎に、路上の車・自転車やバイク等が道路を塞ぐ恐れがあるため、警察に対策を要望する。

課題4 防災情報をまとめ、広く周知

■意見

- ・崖、暗きよ、坂道、行き止まり道路など地区内の地形や地盤について知っておく必要がある。
- ・塀の倒壊の恐れがある場所など危険箇所を把握しておく必要がある。
- ・広域避難場所（昭和女子大学、世田谷公園）までのルートが遠く、危険箇所もある。
- ・まち歩きをして避難所までの安全なルートを確認し、近隣に周知する。
- ・消火栓や消火器の場所を確認しておく必要がある。
- ・災害時、町会や学校などで個別に作成されている防災・防犯マップに要配慮者情報を含めた防災マップを作成しておく必要がある。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・地区内のイベントを通じて、防災知識の普及を図る。
- ・町会・自治会と行政が協力して、指定避難場所以外でも避難可能な場所をマップに掲載し、情報共有を図る。

■各団体の今後の取り組みの方向性

【池尻小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 池尻1・2丁目全体のまち歩きを行い、危険箇所等の確認をして、防災マップ作成のための検討を行う。

【三宿小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 地区パトロールは毎月行っているが、参加者が固定化しているため、班長にも参加してもらえよう働きかけていく。
- ② 池尻3丁目、三宿1丁目は、防災マップを作成・配布しており、今後も継続していく。
- ③ 三宿1丁目の会は、まちを知り災害に備えるため、地区内の消火器を探すウォーキングを実施しているため、他町会でも検討していく。

【多聞小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 町会で、文字が少なく一目で分かるような防災マニュアルの作成を検討する。

課題5 その他

■意見

- ・防災無線が聞こえない地区がある。
- ・246を通過する帰宅困難者への対応を考える必要がある。
- ・マンホールトイレ、防災用井戸などの防災資源が、西側の地区に偏っている。
- ・一時集合所が不足している。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ・世田谷公園（広域避難場所）の最大活用を検討する。

■各団体の今後の取り組みの方向性

【三宿小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 民間企業等のオープンスペースを一時集合所として提供してもらえよう働きかける。

【多聞小学校避難所運営協議会エリア】

- ① 町会・自治会が、一時集合所に指定できるような場所を提供してもらえよう協力を求める。

《参考》

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 【池尻小学校避難所運営協議会エリア】 | （池尻東親会、池尻南睦会、池尻団地自治会） |
| 【三宿小学校避難所運営協議会エリア】 | （池尻西町会、池尻北自治会、三宿自治会） |
| 【多聞小学校避難所運営協議会エリア】 | （池尻4丁目町会、三宿北町会） |